

# 袋井商工会議所経営発達支援計画の講評

2021年1月19日 鈴木宣二

## 第1期の講評

項目	講評内容
目標：全体	小規模事業者への経営サポートの努力が実ってきている
1. 地域経済動向	商工振興委員の活躍が見られる
2. 経営状況の分析	経営状況の分析は弱い
3. 事業計画策定	経営革新計画に認定件数は着実に伸びている
4. 事業計画実施支援	フォローアップの件数は伸びており、定着度合が高まっている
5. 需要動向調査	大きな変化は見られない
6. 新たな需要開拓寄与度	展示会や商談に力を入れており、着実に成果が出てきている
7. 地域活性化	袋井の花火大会は2019年度で40万人の参加者があり全国でも有数の花火大会として定着した。
8. 事業項目全体	事業全体としては、努力跡が伺え、今後に期待が持てる

## 令和元年度の講評（その1）

項目	講評内容
1. 地域経済動向調査	通常に実施されている
2. 経営状況分析	基礎データ把握事業も通常
3. 事業計画策定支援	経営革新計画、小規模持続化、経営力向上は増えてきている
4. フォローアップ	フォローアップ事業者数も増えてきている
5. 需要動向調査	調査件数は通常
6. 新たな需要開拓	商談会や販路開拓事業は積極的に実施されている
7. 地域経済活性化	2019年度の花火は約40万人が参加し、大盛況であった

## 令和元年度の講評（その2）

項目	講評内容
1. 全体概要	全体概要は通常
2. 委員会開催	委員会開催も通常
3. 調査分析	経営分析ソフト活用、商圈分析ソフトの導入
4. セミナー	商品開発のブラッシュアップは良い
5. 専門家活用	専門家を活用し、47回の個別相談会を実施
6. 需要開拓支援	県内外で商談会を実施し、効果が出てきている
7. その他	他の商工会議所との意見交換会実施

### 今後について

2020年度は花火の中止、2021年度も新型コロナが収束していないので新たな地域活性化の施策が必要と思われます。例えば、展示会や商談会を活性化させ、袋井の地場産品を全国に広める活動が必要と思われます。それには、生産者、販売者、関連団体等の地域全体で連携した活動が望まれます。

以上